

JHFレポート

197号 JHF

最新情報・バックナンバーは
ウェブサイトをご覧ください。
<http://jhf.hangpara.or.jp>

Japan Hang&Paragliding Federation

公益社団法人 日本ハング・パラグライディング連盟 発行



フランスでの第17回ハンググライディング世界選手権より。撮影：松田保子

フライヤー増加を目指して 2012年度JHF事業方針と予算

新年度スタート、JHFにとっては公益社団法人として2年目の始まりです。

新年度事業計画の策定にあたり、以下のとおり事業方針と予算を決定しました。より楽しく安全に自由な飛行を続けていくための、空の仲間や理解者を増やしていくための事業に、JHF会員の皆様のご協力をお願いします。

事業方針

2011年度に引き続き、ハング・パラグライディングの人口増加をめざした

活動に注力していきます。

楽しさを伝えるよう前年度に募集を開始した映像コンテストの作品などの活用を図っていきます。また、記事として多くのメディアに取り上げられ、宣伝効果を得られるよう努めます。さらに、簡易競技のフライトイベントを主催し、初心者向けの楽しい集まりを作るため、今年度も第二回目の実施をいたします。

実現の遅れている補助動力・モーターフライトに対する教育資料や、ハ

ンググライディング教本の改訂の進行も図りたい考えです。予算の確保のほか、積極的な推進人材の確保にも努力します。

都道府県連盟との協調活動も重要であり、大震災からの復興に寄与できるもの、フライヤーのモラル・マナーの向上に資するもの、ひいては社会的責任である自主規制の目に見える成果につながることに人的資源と資金の投下を図っていきます。

安全性の確保においては、これまで



FOR ALL SPORTS OF JAPAN

JHFレポートはスポーツ振興くじ助成金を受けて発行しています

JHF事務局が移転しました！

旧事務所は耐震基準を満たしていなかったため、2011年12月5日に移転しました。 新住所：114-0015 東京都北区中里1-1-1-301
TEL.03-5834-2889 FAX.03-5834-2089

のフライトに直接起因するリスクに加え、関係者の潜在的身体リスクに着目した知識啓蒙ならびに意識改革に努めていく予定です。全国統括機関として、発行済みのパイロット技能証（永久資格）保持者へのアフターフォローを実施していきます。

予算

2012年度予算について、収入と支出の内訳割合を下のグラフにしました。会員の皆様のお金がかかるような活動に使われているのか、ご覧ください。

6月18日に総会を開催

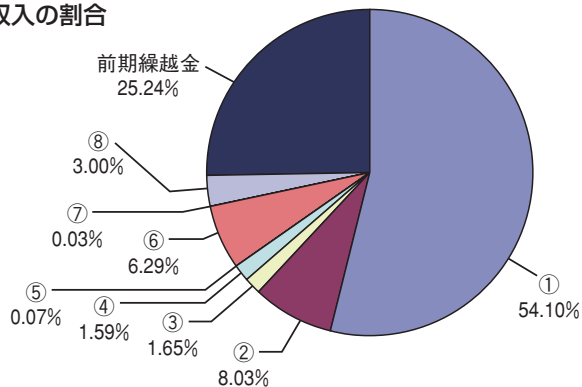
6月18日(月)11時より、東京体育館第一会議室(渋谷区)で2012年度のJHF総会を開催します。

公益社団法人として新定款のもとで行う2回目の総会では、前年度事業・決算、今年度事業計画・予算等について、全国47の正会員に報告されます。詳細は後日JHFウェブサイトをご覧ください。傍聴の受け付けについてもご案内しますので、ぜひチェックを。



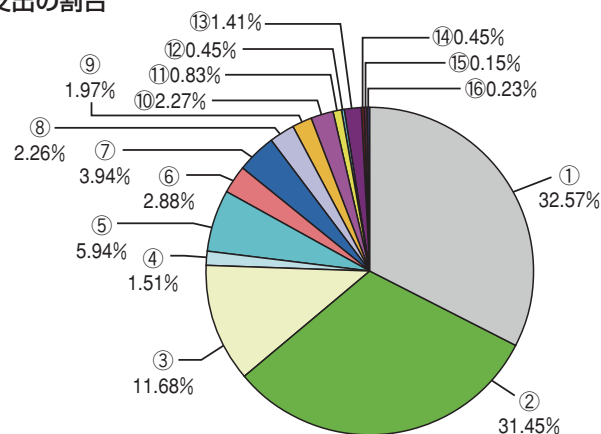
第1回JHFフォトコンテスト応募作品 笹岡みのり「ギャラリーは高校生」

収入の割合



①会費等	36,095,516円
②技能証の発行に基づく収入	5,357,364円
③競技に関する収入	1,100,000円
④教本等の頒布に伴う収入	1,060,000円
⑤検定会参加費	50,000円
⑥補助金	4,200,000円
⑦機体登録費	20,000円
⑧その他	2,000,000円
前期繰越金	16,837,616円
合計	66,720,496円

支出の割合



①会員サービスのための	21,500,000円
②JHFの維持運営のために	20,760,000円
③都道府県連盟の補助のために	7,710,000円
④公益事業の推進のために	1,000,000円
⑤世界選手権、アジア選手権や検定会のための積立	3,920,000円
⑥広報・普及活動のために	1,900,000円
⑦日本選手権や国体デモスポのために	2,600,000円
⑧競技のために	1,490,000円
⑨よりよい教習環境のために	1,300,000円
⑩委員会活動のために	1,500,000円
⑪補助動力のために	550,000円
⑫学生の補助のために	300,000円
⑬事故調査や安全のために	932,000円
⑭海外との交流のために	300,000円
⑮制度のために	100,000円
⑯総会のために	150,000円
合計	66,012,000円

JHF常設委員会の活動と新メンバー

JHFには七つの常設委員会があります。委員の皆さんはハンググライディング・パラグライディングの普及と発展、JHF事業の推進のために日々尽力しています。

常設委員会委員の任期は2年間。これまでの委員の任期満了のため、JHFでは2012年度・2013年度委員を公募していましたが、多くの方にご応募いただき、2012年3月17日文書理事会で新メンバーを選任しました。

今回は、ハンググライディング競技委員会、教員・スクール事業委員会、安全性委員会、ハングパラ振興委員会に定員を超える応募があり、今期限りという条件で定員を超えた委員を選任しています。

以下は、各委員会の2011年度活動の報告と新メンバー紹介です。エリアで委員に会ったら、あなたの意見や要望を伝えてください。

ハンググライディング競技委員会

□2011年度活動

- ・WEB登録によるエントリーの簡素化
- ・委員会ホームページの運営
- ・第18回ハンググライディング世界選手権への選手派遣（イタリア 7月19日～29日）
- ・2011年ハンググライディング日本選手権開催（茨城県足尾エリア 10月6日～10日）
- ・2011年リジットハンググライディング日本選手権開催（クラス5）（茨城県足尾エリア 2012年3月10日～11日）
- ・ハンググライディングシリーズ管理運営
- ・ハンググライディングXC（クロスカントリー）リーグ管理運営



安全性委員会、教育・スクール事業委員会の合同会議。

□新委員（定員5名→6名）

板垣直樹 内田秀子 北野正浩
鈴木由路 松村貴博 牟田園明

パラグライディング競技委員会

□2011年度活動

- ・ルールブックの改定
- ・WEB事務局・ホームページ管理
- ・第12回パラグライディング世界選手権への選手派遣（スペイン 7月3日～16日）
- ・第6回パラグライディングアキュラシー世界選手権への選手派遣（チェコ 7月22日～30日）
- ・Jリーグ、J2リーグ、XC（クロスカントリー）リーグ、AJ（アキュラシー）リーグ管理
- ・2011年パラグライディング日本選手権開催（新潟県鳴倉山エリア 6月9日～12日）
- ・2011年パラグライディングアキュラシー日本選手権開催（山形県十分一エリア 9月24日～25日）

□新委員（定員5名）

岩谷勝弘 岡芳樹 上山太郎
児島彰 成山基義

安全性委員会

□2011年度活動

- ・メール通信による稟議
- ・安全管理情報の普及に役立つ事例集の作成準備
- ・安全セミナーのプログラム作り
- ・事故報告、事故統計管理

□新委員（定員6名→8名）

伊尾木浩二 桂敏之 佐山茂
大門浩二 外村仁克 西本一弘
目黒敏 山本貢

制度委員会

□2011年度活動

- ・JHFに関わる制度の定款、規約、規定、規則等の文書管理
- ・公益認定申請に関わる制度の見直し
- ・理事会諮問事項の対応
- ・役員選任規約案作成

□新委員（定員5名）

泉秀樹 井上潔 小林秀彰
佐山茂 中瀬誠



マレーシアでのアキュラシーワールドカップより。

教員・スクール事業委員会

□2011年度活動

- ・教員助教員更新講習会開催（15ヶ所 205名受講）
- ・教員検定会開催（5名に教員認定）
- ・パラグライダー学科試験問題の改訂
- ・JHFレスキューリパック認定証制度の実施運用

□新委員（定員6名→9名）

伊尾木浩二 岩橋亘 鹿山登
片山芳和 桂敏之 小林秀彰
下山進 塩坂邦雄 水野良信

補助動力委員会

□2011年度活動

- ・MPGの災害や事故に対する連絡、通報、対応策の見直し
- ・フライヤー会員登録の推進
- ・アキュラシー大会協力（トーイング技能の対応、検討など）
- ・MPG補助動力教本の改訂準備

□新委員（定員5名）

伊尾木浩二 須藤彰 橋田明夫
宮本司 椋本清治

ハングパラ振興委員会

□2011年度活動

- ・JHFサイトリニューアル
- ・第1回JHF映像コンテスト実施（2012年5月31日締切）

□新委員（定員5名→7名）

芦川雄一郎 小島章弘 佐山茂
塩坂邦雄 殿塚裕紀 橋本みさ紀
堀江譲

2012年CIVL総会から

この2月に国際航空連盟（FAI）の国際ハンググライディング・パラグライディング委員会（CIVL：フランス語で『自由飛行委員会』の略）の総会と小委員会が台湾で開かれました。

日本を代表するデレゲート（委員）としてJHFが推薦した岡芳樹さんが日本航空協会より派遣され、また、オブザーバーとして児島彰さんが出席しました。以下は岡さんによる報告です。



日程：小委員会 2月16日・17日

総会 2月18日・19日

会場：台湾、Jiao-Xi, Yilan County
EVERGREEN HOTEL

参加国：23ヶ国出席、委任状9ヶ国。

議決事項：

ハンググライディング（HG）関連

1. フライングのペナルティ

フライングスタートに関し、現行では誰もゴールしなかった場合に何のペナルティも課せられないので、これを改める。内容としては：スタートオープン時刻より早くスタートした時間X秒につき1点のペナルティポイントを課す。Xは通常3秒であるが、タスクブリーフィングで変更することができる。また、Y秒以上早くスタートした選手にはミニマム距離の得点のみを与える。Yは通常300秒であるが、同じくタスクブリーフィングで変更することができる。

2. 選手権の併催

スポーツクラスの選手権を他の種目（女子選手権、クラス2、クラス5）と共に開催することが可能となった。

3. 最小参加選手数

これまでカテゴリー2大会において、スポーツクラス、クラス5の大会成立に必要な最少参加選手数が6人であっ

たが、ローカルルールで決定できるようになった。

4. 国際陪審

選手権のテスト大会において、3人からなる国際陪審を設置しなければならないこととなった。国際陪審のメンバーは、CIVLの認めた経験のあるジュリーメンバーから選ばれる。現地にいなくても良しとする。

5. 次回世界選手権の国際陪審

2013年にオーストラリアで開催予定の世界選手権では、国際陪審のうち2名を現地にいないリモートジュリーとし、選手のエントリー費をその分下げることとする。

6. ヘルメット

ヘルメットに関する規則は、そのまま継続され、EN認証を取得したものに限られる。

7. スプログセッティング

スプログのセッティングが許容範囲内にあるかどうかはチームリーダーの責任である。CIVLは、メーカーあるいは試験機関のセッティングを公表し、また測定器具と方法も公表する。測定誤差は1度とする。

8. 女子・クラス2&5世界選手権

2014年にフランスで、女子、クラス2、クラス5の世界選手権を開催する意向あり。

パラグライディング（PG）関連

1. カテ1シリアルクラス

カテゴリー1に新たにシリアルクラスを設けるかは、作業部会を設置して検討し来年の総会に提案する。

2. コンベ機のカテ1参加禁止

2012年シーズンは、現在効力のある所謂認証登録を取得していないコンベティション機のカテゴリー1大会参加禁止を継続するものとする。

3. 世界選手権タイトル

世界選手権を個人タイトルと国別タイトルに分けて開催する提案はPWCAと協力して作業部会で検討する。

4. 新コンベクラス

『EN D』とは別のコンベクラスを作り来年の総会で提案し、2014年の選手権から適用するべく、作業部会を設置する。

5. 経験申告書の提出

パイロットの経験申告書の提出は継続する。

6. 世界・欧州選手権参加資格

世界選手権およびヨーロッパ選手権への参加資格は、大会開始3ヶ月以前の24ヶ月において、次のどちらかを満たすこととする。

- ・WPRS（世界ポイントランキングシステム）1位～400位にランクインした。

あるいは

- ・FAI公認大会においてWPRS45点を獲得した。

同様に、他の大陸選手権の参加資格は次のどちらかを満たすこととする。

- ・WPRS1位～1500位にランクインした。

あるいは

- ・FAI公認大会においてWPRS20点を獲得した。

もし選手権主催者がより厳しい条件を付ける場合は、開催立候補時にその内容を明記することとする。

7. 参加資格の例外

参加資格の例外は世界選手権およびヨーロッパ選手権では認められない。

8. タスク

大会においてタスクを落とす（あるタスクの点を総合結果に反映させない）提案は退けられた。

9. カテ2参加の装備

カテゴリー2大会でも認証登録されたヘルメットおよびハーネスを使用す



各国委員の熱意が伝わってくる小委員会。



CIVL総会。今年もさまざまな決定を見た。



委員となごやかに食事を。左端が児島さん。

る提案は退けられた。

10. カテ2参加機

カテゴリー2大会において認証登録されたグライダーのみを使用する提案は退けられた。

11. オープンディスタンス

オープンディスタンスをタスク種目に採り入れる提案は作業部会で検討することとする。

12. カテ1参加の装備

2016年5月1日以降のカテゴリー1大会では、LTF09認証登録されたハーネス及びバックプロテクションのみが使用可能となる。

13. カテ1参加機

カテゴリー1大会に参加できるグライダーは、EN926認証登録されたものに限る。グライダーは、大会開始より90日以前に認証登録されていなければならない（ただし、2012年のヨーロッパ選手権に関しては60日とする）。

14. 機体所有の証拠写真提出

大会開始30日以前にグライダーを所有している証拠写真をCIVLに提出するルールは継続する。

15. アジア選手権参加機

2012年5月に中国で開催されるアジア選手権で使用できるグライダーの規定は、変更なし（2011年12月1日以前に認証登録されたものに限る）。

PGアキュラシー関連

1. カテ1使用可のハーネス

カテゴリー1大会に使用可能なハーネスとして、「CIVLが認めるテスト機関による同等の基準を満たしているものもOKとする」と文言を入れる。

2. フォール判定

フォールの判定は、パイロットが測定フィールド内にいる場合とする（測定フィールドを出たパイロットは対象とはならない）。

3. 選手交代

リザーブパイロットを認める提案は退けられた。

4. ジャッジデータベース

ジャッジデータベースを充実させる。各国はジャッジリストをCIVLに送る。

5. ジャッジセミナー

2012年にもジャッジセミナーを開催する。場所は、ボスニア、マケドニア、コロンビア、ワールドカップ開催場所。予算として5000ユーロを手当てする。

安全関連

1. インシデント報告

インシデントレポートの提出をFAI公認大会では義務付けたが、集まりが悪い。主催者および選手の意識改革が必要。

2. ライブトラッカーの使用

ライブトラッカー（選手の現在位置を知ることができる装置）は安全性の面から有用であるが、運用にエキスパートが必要なこととコストがかかる（1大会15～30万円くらい）ので「カテゴリー1大会で必須」とするのは現時点では無理がある。

3. 他種目との情報交換

FAIの他種目とも情報交換をする。

4. 技術向上策

選手の技術アップを図る（SIVコースの受講の義務付けを含む）必要性のあることは理解されたが、具体策は決まらなかった。

記録・バッジ関連

1. 新設バッジ

アキュラシーにバッジを新設する。

その内容は下のとおり。

銅章：連続4回1m以内にランディングする。

銀章：連続4回の合計スコアが100点以内。

金章：連続4回10cm以内にランディングする。

ダイヤモンド章：連続4回の合計スコアが10点以内。

対象となるフライトは、FAI公認大会におけるものとする。

（スポーティングコードは毎年改定され、5月1日から発効となるので、6月のアジア選手権でのフライトは対象となる。）

2. バッジ名称変更

PG関連のバッジの名称を、分かりづらい「イーグル」から「パラグライディング」に変更する。

3. アクロ記録種目

アクロバットの記録種目に関しては、安全性の観点から、承認されなかった。

4. アジア大陸記録のミニマム

アジア大陸記録（HG／PG共通）のミニマムがページ右上の表のように下げられた。

アジア大陸記録のミニマム

	一般	多座	女子
直線距離	100km ↓ 60km	50km ↓ 30km	50km (不変)
目的地距離	100km ↓ 60km	25km (不変)	50km ↓ 40km
宣言アウトアンドリターン距離	100km ↓ 50km	25km (不変)	50km ↓ 40km
自由アウトアンドリターン距離	100km ↓ 50km	25km (不変)	50km ↓ 40km
宣言三角距離	100km ↓ 40km	25km (不変)	50km ↓ 30km
自由三角距離	100km ↓ 40km	25km (不変)	50km ↓ 30km
3つ以内のパイロンを使った距離	100km ↓ 60km	25km (不変)	50km ↓ 40km

2014年選手権の承認

1. 開催決定

・PGヨーロッパ選手権

セルビア、ラスカ

8月1日～16日

・PGパナナム選手権

アルゼンチン、ロマボラ。

・PGアキュラシーヨーロッパ選手権

セルビア、ブルシャツ。

8月31日～9月7日

・PGアキュラシーアジア選手権

マレーシア、サバ。

6月1日～10日

2. 開催地立候補

下記の2015年選手権立候補の意向が表明された。

・PG世界選手権

中国 Linzhou

・PGアキュラシー世界選手権

インドネシア Puncak

表彰

・FAIゴールドメダル

John Dickenson（オーストラリア）

・HGディプロマ

Miklos Onody（ハンガリー）

・ペペ・ロペスメダル

Riikka Vilkkuna（スウェーデン）

その他

FAI事務局長の話では、ドーピングに関して、世界アンチ・ドーピング機関（WADA）と協調する必要性から、今後、OUT OF COMPETITION検査（大会中に検査するのではなく、普段生活しているときに突然検査されるも

の)も導入するとのこと。トップパイロットは、日頃から十分気を付けないといけない。

選挙

・委員長

Agust Gudmundsson (アイスランド)

・副委員長

Chris Burns (イギリス)

Igor Erzen (スロベニア)

Stephan Malbos (フランス)

Goran Dimiskovski (マケドニア)

・事務局

Jamie Sheldon (アメリカ)

・財務

Hamish Barker (オーストラリア)

・小委員会委員長

HG小委員会

Oyvind Elefsen (ノルウエー)

PG小委員会

Chris Burns (イギリス)

PGアキュラシー小委員会

Nikki Bodill (イギリス)

アクロ小委員会

Claudio Cataneo (スイス)

Dennis Pagen (アメリカ)

記録・バッジ小委員会

Scott Torkelsen (デンマーク)

安全性小委員会

Raymond Caux (フランス)

スポーティングコード小委員会

John Aldridge (イギリス)

次回総会

総会開催の立候補が無かったので、開催場所は自動的にスイスのローザンヌとなる。日程は未定だが、例年通り2月の予定。

アジアの旋風、インドネシア。

アキュラシーワールドカップ報告 岡 芳樹

3月中旬の二つの連続する週末に、パラグライディングアキュラシーワールドカップの第1戦がインドネシア、第2戦がマレーシアで開催され、日本から私と古賀の2選手が参加した。古賀選手は昨年にも参加しているが、私は初めての参戦となる。

第1戦インドネシアラウンドは、首都ジャカルタの南80kmほどにあるブンチャクという、話ではインドネシアで最初にハンググライダーが飛んだ場所と言われているところで開催された。テイクオフはよく整備されており、同時に2機がセットアップできる広さだ。ランディングは250m下の茶畑の中に、僅かに傾斜したサッカー場程度の広さである。パラでは全く問題ない広さだがハングだとちょっと狭い感じだ。生憎非公式の練習日も含め連日強風と雨に翻弄され、期間中パラグライダーは練習日の1機と、本番での1機の計2機が飛んただけで、終了となって

しまった。3年後の世界選手権開催地となる予定なので、ぜひとも飛んでおきたかったが、天候には逆らえない。

一方、ボルネオ島のコタキナバルから東へ約60kmに位置するラナウという町で開催された第2戦マレーシアラウンドは、練習日も含め連日天候に恵まれ(と言うより、良過ぎてサーマルバンバン状態でやるならクロカンでしようと言うコンディション)、競技が行われ、マキシマムとなる6ラウンドが成立した。テイクオフは、自然の地形で3機が楽に上げられる広さ。ランディングは100m下の川に沿って走っているダートロードの広がった部分に砂を敷き詰めたもの。こちらも僅かに傾斜しているが特に問題となるほどではない。参加者は、強豪国スロベニア、セルビアを含む世界各国の10ヶ国から54名であった。大会会場はさすがに赤道が近いので日差しがきつい、湿度が少ないせいかうだるよう

な暑さではなく過ごしやすかった。また、エントリー費に含まれていた4つ星ホテルの宿舎は標高が高いためか、全くクーラーは必要なかった。

大会の成績はというと、私は全くグライダーコントロールができずに最悪の30位に沈んでしまった。一方、大会慣れしたのか古賀選手はしり上がりに調子を上げ、終わってみれば堂々の8位であった。

それにしても、インドネシア選手のレベルの高さには正直驚かされた。これだけの荒れたコンディションで、あのマチアス選手を圧倒してしまうのだから、大したものだ。ワールドカップならびにFAIランキングに上位者を輩出している。アジアでマークするのは、中国ではなくインドネシアとなった感がある。この場所は2年後の第2回アジア選手権が開催される場所なので、成績は散々だが良い収穫ができたことで良しとしよう。



マレーシアラウンド開催エリア。



←左から2番目が2位のナナン(インドネシア)、1位デデ(インドネシア)、3位アントン(スロベニア)、1人置いて、4位ゴラン(セルビア)、5位マチアス(スロベニア)。

↓選手集合! なかなか手強いライバルたちだ。



7年ぶりのクラス5日選、板垣が連覇。

2012リジットハンググライディング日本選手権 in 足尾 報告：大会実行委員長 板垣 直樹

クラス5の日本選手権は今回が3回目。世界的には1999年のイタリアの世界選手権から始まった。

国内ではアトス以外でもリジットハンググライダーは徐々に増えているが競技人口が少ないため、前回の2005年丹沢での日本選手権以来、7年ぶりの大会となった。

参加選手は過去最高の16人だが、実はクラス1（従来のハンググライダー）の選手が5名参加してくれたおかげだ。
*性能が上のクラスの大会に下のクラスが出場できるFAI規定があるので、クラス5（リジットクラス）にはクラス1（フレキシブルハング）とクラス3（パラグライダー）も参加できることになっている。

また、今回は普段大会に出ない人たちが参加しやすいよう、土・日曜日の2日間の日本選手権となった。

大会初日の10日は、この時期にめずらしく停滞する前線の影響で、朝からあいにくの雨により競技キャンセル。夜に予定していたウェルカムパーティーを昼からに変え、選手と大会役員や地元フライヤーも含めて賑やかで楽しい交流会になった。

競技2日目の3月11日、テイクオフで選手・役員全員で東日本大震災によって亡くなった方々への黙祷をささげた。

冬型が弱まる気圧配置で、日照は少なく雲量は全体の80%以上、しかし減率が良く雲底は1000m程と予想し、組まれたタスクは75.8km。足尾TOー燕鉄塔ー国民宿舎ー飯田ダムー高峰TOー竜神山ーフラワーパークーHGメイランディング場と、昨年10月の足尾でのクラス1日本選手権の初日を思い出させる難易度の高いものだ。



板垣選手、余裕の表情。機体には頑張ろう日本！の文字。

11時30分のゲートオープンに次々とテイクオフするが、ほとんど日照のない空域に上げ渡る選手たち。結局、12時のデパーチャーオープンに一齐にスタートを切ることなく、それぞれが上げきったタイミングでスタートをしていった。

前半は板垣が単独で先行し、それを追う山本と大門。中盤の飯田ダムでは逆転して山本が先行し、それを追う二番手大門、板垣となり、さらに後を三番手グループが追う形だ。

このタスクでカギとなったのが中盤の飯田ダム、この前後でのコース選択が折り返しの高峰の攻略に大きなポイントとなった。

ここを乗り切った山本が先行する形で後半をリードするが、最後のフラワーパークをとれずにランディング。その上で辛うじて上げきった板垣が唯一のゴール者となり優勝をもぎ取った。

競技日数が一日なのでカテゴリー2大会としての成立は逃したが、選手全員がそれぞれの力を出し切った良い大会となった。

今後、徐々に大会の規模を大きくし毎年開催していくことを宣言したリジット日本選手権、足尾エリア以外にも開催していただけることを切に願います。

[上位選手]

1位	板垣 直樹	茨城県
2位	山本 剛	神奈川県
3位	塩野 正光	栃木県

日本選手権者・板垣直樹選手から

3回目のクラス5日本選手権で三連覇できたことは非常に嬉しく名誉なことだと感じています。



75km先のゴールを目指して雲量の多い空にテイクオフ。

東日本大震災の後でまだまだ大変な状況ですが、大会が開催されたことを感謝しています。応援してくださった方々や足尾エリアの皆様、運営スタッフの皆様、参加した選手全員に感謝しています。ありがとうございます。

近年このクラス5は愛好者が少しずつ増えていますが、競技志向のパイロットが少ないためか大会が少なく、日本選手権でも参加者が少ないのが現実です。

私は選手としてもハング競技委員長としても大会主催者としても、一人でも多くの選手の参加を呼び掛けたいと思っています。

クラス5の性能向上は目覚ましく飛び方や技術も日々進歩しています。日頃交流のないエリアのパイロットたちが競技を通じて親交をもち技術向上を図る場として、リジットの大会の毎年開催を目指します。今後も日本選手権や世界選手権にも参加していき最新の情報や技術の向上に努力していきます。

安全に楽しく、より広い空域を飛べるクラス5が今後も普及発展していくように一緒に飛びましょう。

来年も当然、四連覇を狙います。



上位3選手。後列左から中盤先行の山本、板垣、塩野。



選手・役員みんな笑顔で被災地にエールを送る。

空で結ぶ大きな和

パラグライダー体験会と初心者大会

報告：実行委員会 荒井 教雄

「空で結ぶ大きな和」と題し、パラグライダー無料体験会と初心者大会を3月24日(土)・25日(日)に静岡県アサギリ高原エリアで開催しました(富士宮市・静岡放送・静岡新聞社・静岡県フライヤー連盟後援、有限会社さんじゅう・イカロス出版株式会社協賛、JHF主催)。

パラグライダー無料体験会は、東日本大震災及び原発事故で被災された方々を激励しようと企画したもの。被災地や避難場所に呼びかけ、2日間で約70名が参加。参加者のほとんどが福島県いわき市、福島市、郡山市の方で、東京都や静岡県・山梨県周辺に避難されています。

メインランディングにある20mの小山でパラグライダーによる浮遊体験をした方の多くから「楽しかった」という言葉をいただき、また「ありがとう」という声も聞こえ、企画してよかったとホッとしました。

パラグライディング普及振興活動の一環として行った初中級者も気軽に参加できる大会「富士山カップ in アサギリ高原」にも全国から約70名(ビギナークラス+エキスパートクラス)のエントリーがありました。

シークレットパイロン、セッタタイム、マーカードロップなどの競技を予定していましたが、初日は気象条件が安定せずタスクキャンセル。2日目は晴天に恵まれたものの、西風、東風と安定せず、その後は北風の強風が止まず、実行委員会の判断により残念ながら大会中止となりました。

フライトはできませんでしたが、競技説明とともに朝霧攻略方法の説明もあり、今後のフライトの目標になればと思います。次回は雄大な富士山を望む朝霧の空を満喫していただきたいのです。

最後になりましたが、ご協力くださった皆様、ありがとうございました。

体験会に参加された方からひとこと

「いわきから避難していて、東京のおばあちゃん宅からきました。飛ぶことができてとても楽しかったです。」(10歳の女の子)

「震災で行方不明の知り合いもいます。いろいろ思い通りにならないことも多いのですが、今日は子供に外で元気に遊ぶことを経験させてくれて参加しました。ありがとうございました。」(お子さんは笑顔で元気に何度も体験してい

ました)
「被災して東京に仮住まいしていて、無料体験会の案内を知り、以前から飛んでみたかったので応募しました。風が強くて体験ができず、とても残念だったので、また開催していただけたら今度は絶対飛びたいです。」
「どうしても飛びたいのに風の影響で飛べない。地震も自然が相手だったし、自然が相手というのは難しいですね」という方も…。

2日目午後、変化し続ける風の方向に合わせて小山の北側、南側へと移動しながらも、インストラクターの補助を受けて小山の中腹から空中に浮くことができた藤橋遼太郎くん(12歳)は、「楽しかった、また飛びたい」と大喜びでした。妹の春香ちゃん、弟の壮佑くんもそろって浮遊体験をすることができました。



左から、春香ちゃん、壮佑くん、遼太郎くんとお母さん。遼太郎くんはお父さんの影響で司馬遼太郎の作品が大好き。「坂の上の雲」も愛読書です。撮影：東野武史



にぎやかにグランドハンドリング。撮影：安田英二郎



「わーっ飛んでる！」サポートも笑顔。撮影：安田英二郎



ヘルメット&ハーネス姿も凛々しく。撮影：安田英二郎



美しい富士山の前にタイミングを計る。撮影：安田英二郎





こどもたちの歓声が飛び交った体験会場。サポートの皆さん、お疲れさまでした。撮影：田中康之



キャノピーの大きさにびっくり。撮影：安田英二郎



味のある手書き看板のなかで桜が咲いた。
撮影：安田英二郎



富士山カップ in アサギリ高原

写真左 撮影：田中康之
選手ブリーフィング。競技初出場の選手も。
写真中 撮影：東野武史
天気はいいが……テイクオフで風待ち。
写真右 撮影：田中康之
中止が決まり参加者全員で記念撮影。

模範演技DVDもうすぐ完成!

パラグライディング教本+DVDでより効率のよい技術向上を

JHFでは、2010年11月に発行したパラグライディング教本に沿った模範演技DVDを作っています。制作メンバーは、教員検定員を対象として正会員に募った結果、手を挙げてくれた方々です。撮影・編集は苦労の連続でしたが、数多の困難を乗り越えて、近日DVDが完成します。以下は、このプロジェクトの推進役を担ってくれたベテラン教員／教員検定員、山谷武繁さんからの完成直前レポートです。

JHFパラグライディング新教本が発行されてから、新たなバイブルとして全国のスクール、フライヤーの技術向上に役立ってきました。今回のDVDは、教本の文章だけでは表現できないことを映像で見て理解してもらう資料として制作することになったものです。模範演技DVDと教本を併用して勉強することで、さらに効率的な技術の向上につながればと思います。



空撮カメラマンをぶら下げて模範演技を。



パイロットもセルフ撮影（加賀山さん）。

収録内容は、教本に沿って以下のような項目を予定しています。

[A・B級課程]

旋回（45度、90度、180度）

[ノービスパイロット課程]

360度旋回

ピッチング

ローリング

リアライザー

両翼端折り

[パイロット課程]

フィギュアエイト

片翼潰し

両翼端折り

[クロスカントリー]

スパイラル

Aストール

Bストール

撮影に関しては、JHF技能証規程の各項目の基準となる演技を収録することを第一に取り組みました。この模範演技がベースとなり、スクールや各個人の教材として活用されることで、全国のレベル統一につながるのではないかと期待しています。フライトできない時の座学講習でも、映像を見ながら教員が解説することで、効果のあるツールとなるでしょう。

編集では、初心者にもわかりやすい構成を心がけています。今回のDVDは練習生を対象として作っていますが、基本を再度見直すためのパイロットの教材としても有効だと思います。

DVDの構成は、機体の動きがわかりやすい映像や、パイロットの操作と機体の動きが連動してわかる2画面映像等で組み立てています。普段の講習では無線誘導による講習だけで、実際には各練習生がどんな操作を行っているのか細かなところはわかりません。練習生自身もどのくらいの操作が求められているのか、どのタイミングで操作するのか、しっかりと理解できていない状態で練習をしていることが多いと思います。ブレイクコードを引く速度や量、タイミングが事前にわかれば効率のよい練習を行うことができます。

模範演技に関しては、インストラク

ターひとりひとりにいろいろな意見があると思いますが、今回の映像はJHF技能証規程に基づいたベーシックなテクニックとしてご理解いただければと思います。そしてたくさんのフライヤーに教本とDVDが有効に活用されることを期待しています。

模範演技DVD 撮影プロジェクトチームから

模範演技パイロット 加賀山務

子供の頃から空に憧れて育ったパイロット志願の非行少年でしたが、自由に大空を飛ぶという理想を求めてフリーフライトスポーツの魅力にはまってしまいました。ハンググライダーを学生時代に始め、ハングメーカーに就職。時代の流れに乗っていつしかパラグライダーメーカーになっていましたが、軽くて気軽に持ち運べる「自由な翼」パラグライダーのおかげで様々な経験をさせていただきました。気がつくと、いつの間にか飛行中年になってしまいましたが、いままでに培った様々な経験と知識を、少しでも多くのパラグライダーを楽しみたい方へわかりやすく伝えてゆき、空を愛する皆さまのお役に立てればと思います。

これからも空を飛ぶという冒険と一緒に楽しんでゆきましょう。もちろん安全第一にね。

パイロット・空撮担当 水野良信

独りよがりになりがちな理論、技術の再確認を含め参加しています。今回は長くパラグライダーの教習に従事しさまざまな経験・知識を持つ方々が、基礎技術の見本、手本を映像にしようと集まりました。

山谷氏が中心となり、私はサポート役ですが、意見を交わしていく中でそれぞれに熟成された考えは、JHFの財産になるもので、形として残す必要を強く感じました。

試行錯誤をして何とか形になったと思いますが、限られた条件の中では限界も感じます。その辺はご容赦願いたいと思っています。

撮影・編集担当 横田三郎

今回のプロジェクトに参加させていただきありがとうございます。撮影と編集を担当していますが、模範演技を的確に捉えるカメラワークの難しさを痛感しました。映像ファイルの(1TB超える?)膨大さに驚嘆、更には編集の難しさで今まで経験したことのない困難さに挑戦しています。

微力ながらパラグライダー啓発にお役に立てればと奮闘しております。

撮影・編集担当 齋藤博義

発表会や結婚式のビデオ撮影の経験は20年程あって、今回JHFから「教本とタイアップしたビデオ作成」という公募があり、自薦で応募しました。パラグライダーの撮影は、パラスクールにてテイクオフやランディングからの撮影経験もありましたので、カメラ操作は自信がありました。

しかし、今回は空撮をするというこ

とで、少し不安がありました。実際、タンデムで撮影すると「双方揺れた状態」で安定した画像にするのは、大変難しいことでした。空撮はベテランのパイロットにお任せして、テイクオフ・ランディングからの撮影に専念してもらい、沢山の「シーン」を撮影することができました。

Youtube等にも「断片的な映像」はありますが、教本に沿った映像は、ビギナーのみならず、きっと幅広くフライヤーの役に立つと信じています。

パイロット・編集担当 山谷武繁

以前から講習生に「教本の文字だけで各項目の理想の形がわからない」と言われていました。それは全国のスクールでも同じなのではないかと思い、DVD作成に参加しました。しかし映像を知らない素人集団でしたので、試行錯誤しながら進めてきました。

ただ演技を撮影するだけではなく、

どんなものが求められているのかをわかりやすく伝えるには、どんな撮影や編集をすればいいのか、苦労の連続でした。でも、これがパラグライダー界に役立てられれば、という思いだけでみんな頑張ってくれました。このDVDによって安全フライトや技術向上に少しでも貢献できればと思います。



この模範演技DVDは、近日頒布開始の予定です。詳細はJHFウェブサイトでご案内しますので、ぜひチェックしてください。



地上撮影班も頑張って撮りまくりました。

安全にフライトを楽しむために JHFの取り組み

JHFは、フライヤーが楽しく安全に飛び続けることができるよう、さまざまな活動を行っています。事故を減らすことによって、ハンググライディング・パラグライディングの人口増にもつながるでしょう。「自分自身が事故当事者になるとは思えない」と考えている人は少なくないようですが、刻一刻と変化する自然のなかで飛行するのですから、予想外の危険に遭遇する可能性を常に念頭に置いてフライトを満喫してください。また、安全飛行のためのJHFの取り組みにご協力をお願いします。

ハンググライダー整備の推進

安全性委員会では、ハンググライダーのオーバーホールシール(名称案:ハング機体付帯整備票)についての取り決め等を準備中です。

定期点検もせずに飛行するハンググライダーの危険性は非常に高いものです。しかし残念ながら、簡単なプレフライトチェックをするだけで長年にわ

たり定期点検をせずに飛行をしているパイロットは多く存在しています。

「ハング機体付帯整備票(案)」は定期点検を行った機体に貼り付けるものです。これを普及させることによって、フライヤー全体の安全に対する意識を高めてもらい、また整備不良によって起こる事故の減少につなげることを目的とします。

詳細が決まり次第、JHFウェブサイトやJHFレポートでお知らせします。定期点検を先延ばしにしてきた方、この機にしっかりオーバーホールを受けましょう。

事故報告のお願い

JHFは事故防止策の一環として「アクシデント、インシデント集」の作成を予定しています。

重大事故として報告されていない事故、即ちヒヤリ、ハット、インシデントの類がまだ多く見られると思われます。ハンググライディング・パラグライディングのより一層の安全性確保を

目指して、できる限り多くの事故関連情報を皆様に提供できるよう、重大事故だけでなくインシデントに関する報告もお寄せくださるようお願いいたします。

JHFウェブサイトの「安全性委員会」の「事故報告」にある「事故を報告する」ボタンをクリックすると事故報告フォームが表示されます。比較的簡単な作業で各項目を記入することができますようになっています。

ウェブサイト以外でも、FAXやメール等でJHF事務局にご連絡ください。

ご自分のスクールやご自身のアクシデントやインシデントを報告するのは、抵抗があるかもしれません。しかしあなたの経験が報告されることによって、他のフライヤーもその情報を共有し安全飛行に活かすことができます。

日本のハンググライディング・パラグライディングの未来のためにも、ぜひご協力をお願いします。

リパックをきわめよう

JHFレスキューパラシュートリパック認定証

JHFは、レスキューパラシュートの正しい使用方法、ハーネスへのセッティング方法、リパック方法を普及させるために、レスキューパラシュートのリパック技能認定証を発行しています。認定証を取得すると、JHF公認リパックタグの使用が認められます。検定は、JHFレスキューパラシュートリパック認定証を持っているJHF教員のもとで受検できます。

□受検資格

1. JHFパイロット技能証以上を有すること。
2. 有効な「JHFフライヤー会員登録証」を有すること。
3. 各種レスキューパラシュートのパッキングと収納を、過去1年間に20回以上行ったログを持っている者で、認定証課程を習得していること（受検申込者に事前に配付する受検資料DVDで学習願います）。

□検定料 5,000円



レスキュー開傘（パラグライディング教本より）。

*合格した場合はJHF申請料が別途必要です（5,000円）。

□受検者が準備するもの

- ・リパック用具一式
- ・レスキューパラシュート（異なるメーカー3種類）
- ・ハーネス（3種類。パラグライダー用とハンググライダー用の両方のリパックを行う者は、パラ用2種類＋ハング用1種類、またはパラ用1種類＋ハング用2種類）
- ・リパックログブック

検定は、学科試験と実技試験の両方を行います。検定会の予定はJHFウェブサイトですぐご案内していますのでご覧ください。または、JHF事務局にお問い合わせください。

JHFレスキューパラシュート リパック認定証をお持ちの皆様へ

リパック認定証には、新しい技術、知識を習得するため、3年間の有効期間が設けられています。更新を希望する方は、お手持ちの認定証の期限をご確認いただき、できるだけ有効期限内に更新講習会を受講してください。

□更新講習会参加資格

過去3年間で30回以上のレスキューパラシュートのパッキング、ハーネスへの装着、取り出し確認の経験がなければなりません。



リパックは正確にしていねいに。



埼玉県でのリパック認定証検定会（上の写真も）。

経験の確認はリパックログブックで行いますので、写しを提出してください。

□更新講習会の受講

JHFが認定した教員検定員（リパック認定証を所持する者）が行う講習会（4時間）を受講してください。

1. 受検テキストが改定されたので、その講義があります。
2. リパック技術にログロタイプが追加されたので、DVD講習を行います。
3. 技術の確認のためリパック、セッティング、放出テスト、セッティングをチェックリストにしたがって1回行っていただきます。

講習会の開催が決定したら、随時JHFウェブサイトでご案内しますのでご覧ください。もしくはJHF事務局にお問い合わせください。

東日本大震災被災地復興応援プロジェクト「空はひとつ」

あの3月11日から1年が経ちましたが、東日本大震災の被災地では厳しい状況が続いています。

JHFでは、空の仲間だけでなく、いつもフライトを暖かく見守ってくださる地域住民の皆さまが一日も早く平穏な暮らしに戻るようお願い、被災地復興応援プロジェクト「空はひとつ」を展開しています。その一環として、全国のフライヤー、正会員（都道府県連盟）、スクール、クラブ、競技会参加

者から義援金をお寄せいただいております。日本赤十字社を通じて被災者の皆さまに届くよう寄付をしています。12月～3月は73,755円（累計2,996,746円）が集まりました。今後も義援金を募っていきますので、さらにご協力いただければ幸いです。

◇義援金振込先

三菱東京UFJ銀行（銀行コード0005）

巣鴨支店（店番号770）

口座番号 普通 0017991

口座名義 公益社団法人日本ハング

・パラグライディング連盟

被災された方々にエールを送ろうと、3月末には「空で結ぶ大きな和」と題して、被災者のためのパラグライダー体験会をアサギリ高原エリアで行いました。主に原発事故のため避難生活を強いられている方々に浮遊感覚を楽しんでもらいました。8・9ページの報告をご覧ください。

楽しく飛び続けられる土台づくりを

日本学生フライヤー連盟の2012年度活動計画 理事長 藤田 航輝

学生フライヤー連盟（JSFF）の2012年度理事長を務めることとなった藤田航輝です。

昨年度は震災の影響で、例年多くの学生フライヤーで賑わう砂丘合宿も東北地方の大学が不参加といったことがありましたが、今年度は不景気なぞ吹き飛ばすぞとの意気込みで活動していく所存ですので、どうぞ応援よろしく願いいたします。

2011年度大会報告

昨年度開催の公認大会はハング2大会、パラ2大会の計4大会でした。ハング大会は8月に足尾で開催のNASASと2月龍門でのHG学選。参加者は両大会とも30名前後で各クラス平均的な人数でした。パラ大会は8月の尾神SCと3月の足尾での学生選手権。尾神は東北地方の一部大学の学期がずれこんだこともあり全クラスの参加者合わせて20名弱でした。足尾は直前のキャンセルが多く最終的に23名となりました。ハング：8月NASAS（成立）／2月学選（Expt、1stのみ成立）パラ：8月尾神（Openのみ成立）／3月学選（成立）

学生フライヤーの現状

大会参加者に限ってのことですが、ハングはExptの競技人数が昨年度で頭打ちした印象があり、パラも一昨年のあたりから1stの選手数が5名前後と少ない状況です。大会には参加しないものの飛びを続けているという大学サークルもあるようで、大会志向の学生が減りつつあることは確かなようです。

大会運営について

学期中の大会は土日開催がほとんどで遠距離を強行移動することが多くあり、参加者も多数は見込めないため、昨年度はパラ・ハングともに年間2大会としました。また成立確率を上げるため日数を1日ずつ増やしました。この試みは概ね好評でしたが、開催地選択に地理的偏りが生じ、九州や中国エリアの大会運営ノウハウが途切れてしまうのではという危惧点、尾神SC期間

中の天候不良によりパラのOpenクラス以外の年間成績が学生選手権のみになったことなど問題点も浮上しました。

そこで今年度は連休や冬休みなどの短い休み期間に大会を組み、耳納、高照寺を含む計6大会に戻し、かつ長期休暇中の大会は可能な限り日数を4日間に近づける計画です。砂丘合宿、新人戦も例年通り開催。今年度は東北の大学も含め砂丘合宿参加者は100名を超えるのではないかと思います。

◇ハング公認大会計画：8月NASAS（足尾）／10～12月西学（龍門）／3月学選（耳納）

◇パラ公認大会計画：8月尾神SC／10～12月パラフェスin高照寺／3月パラ学選（足尾）

◇その他公認計画：9月砂丘合宿／11月新人戦

JHFからの助成金

昨年度はハング・パラ学生選手権のエントリー者全員の参加費補助として助成金を使わせていただきました。今年度はハングの2nd、パラのOpenクラスの下位クラスエントリー者のみの各大会参加費補助として使用します。下位クラスの参加費のみに集中して助成金を充てることで参加費の下げ幅を大きくすることが目的です。大会とはどのようなものなのか来てみなければわからず、新入生や大会未経験の学生たちの金銭的負担を少しでも軽減できれば、参加を躊躇することも減るのではないかと考えます。

学生同士の繋がりを

のっけから主観になってしまうのですが、他のエリアでのフライトはワクワクもの。普段とは違う景色、風、人、おいしいもの、etc… ホームエリアとは全く違った楽しみがあります。気心の知れやすい学生同士、日本各地に繋がるパイプがあればどこへでも行きやすいのではないかと、先輩方もそう思ってこの連盟を発足、存続させてきたのだと思います。

そこで今年度はその点を見直し、学生主催の大会やイベントに参加したこ

とのない、他エリアでのフライト経験のまだない学生が気兼ねすることなく各地へ出かけていける、また来てもらえるよう大会を計画しました。スタートラインの近い者同士で競技するのはとても有意義だと知ってもらうための試みです。今年度は社会に出た後でも日本各地で飛びを楽しく続けていける、そんな土台づくりを目指します。

フライヤーを増やすために

フライヤー人口増加について、学生も創意工夫を凝らし取り組んでいます。

年度の始めには新入生の勧誘に励み、機会ある毎にこの新歓行事についての意見交換をしています。やはり空だって賑やかな方が楽しく、規模が縮小しつつある昨今の学生大会じゃ物足りないのが正直なところ。もっともっと大きく遊びたい！ そこで「パラ・ハングっていう素人っぽい遊びがあるんだ、一緒にやろうよ！」と声高らかに叫んでいるわけです。

また、大会やイベントの様子を収めた写真を一般の方々に見てもらい、少しでも空の魅力に触れてもらう機会になればいいと思います。ひいてはそれがスカイスポーツ界全体の認知度向上につながるよう努めていきます。

最後になりますが、実を言うと条件さえ満たしていれば学生でなくとも学生大会に出ることができちゃいます。詳しいことは随時HPに掲載されるはずですのでそちらをご覧ください。お待ちしております。

それでは皆様、今後とも学生連盟へご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



今年は砂丘合宿の参加者が100名以上と予測。

JHF総合保障制度改定のお知らせ

ファイヤー自身の怪我などに備えてスタートしたJHF総合保障制度が、大きく変わります。以下は東京海上日動からJHFファイヤー会員の皆様へのお知らせです。

東日本大震災にて被災された地域の皆様、そのご家族、関係者の皆様には心よりお見舞い申し上げます。

『JHF総合保障制度※』大幅改定

今年度で7年目を迎えるこの保険制度では、2006年の制度発足以来多くの保険金のお支払いが発生しており、会員の皆様のお役にたつ一方で、現行の保険料水準のままでは安定的に本保険制度を維持、運営していくことが困難な状況となっております。そこで長期的視野に立った制度の安定的運営の観点から、今年度は昨年度に引き続き保険料率の改定を行うとともに、ご加入プランおよびその補償内容につきましても全面的に見直すことといたしました。引き続き安全なフライトに心がけられたいと、もしもの時のための本保障制度をご利用いただけますようお願い申し上げます。

※正式名称「団体総合生活保険」

2012年度制度改定内容

- ・基本の保険料率水準を引き上げます。
- ・現行の口数方式を廃止し、4プランに統合したプラン選択方式とします。

【注目！：現在ご加入の皆様へ】

現在ご加入の皆様には、「更新のご

案内」を別途直送させていただいておりますので、到着した書類をよくお読みいただきお手続きください。なお、書類の返送がない場合は「改定後の内容に読替えたプランで更新」させていただきますのであらかじめご了承ください。

プランの読み替えについて

以下の読み替えを行います。詳しくは既に送付済みの「更新のご案内」およびパンフレット等をよくお読みください。

- ・現行FPAプラン1口加入→NP1プラン
- ・現行FPAプラン2口加入→NP2プラン
- ・現行FPAプラン3口加入→NP3プラン
- ・現行FPAプラン4口加入→NP4プラン
- ・現行FPAプラン5口加入→NP4プラン
- ・現行FP1プラン1口加入→NP2プラン
- ・現行FP1プラン2口加入→NP4プラン

ファイヤー登録はお済みですか？

本制度は2012年7月1日現在、JHFへファイヤー登録している方が対象となります。更新の方および新規ご加入の方につきましてもご確認のうえお手続きをお願いいたします。

JHF総合保障制度の特長

- ・国内／国外を問わず、パラグライダー（含むモーターパラグライダー）搭乗中はもとより、仕事や日常生活でのケガおよび遭難の際にかかった搜索費用等の補償をいたします。
- ・地震、噴火またはこれらによる津波

の傷害についても補償対象となります。（救援者費用等保険金につきましては対象となりませんのでご注意ください。）

- ・団体割引10%が適用されます。
- ・保険料のお支払いは口座引き落としとなりますのでお手続きが簡単です。（今年度からは中途加入につきましてもすべて口座引き落としとなります。）
- ・今年度から加入者票は、補償がスタートする7月1日までにお届けいたします。（締切りが早くなりました。）
- ・詳細は同封のパンフレット等をよくお読みください。

新規ご加入方法

新規ご加入される場合は、同封のパンフレット等をよくお読みいただきお手続きください。

- ・締切りが例年より早くなりました！
締切厳守：5月10日（木）必着
- ・中途加入も可能です
締切終了後の加入申込はすべて中途加入扱いとなります。詳しくは、取扱代理店へお問い合わせください。

【保険に関するお問い合わせ先】

東京海上日動代理店：株式会社東海日動パートナーズ・ノースワン
〒170-0013 東京都豊島区池袋1-35-3
池袋センタービル10階
TEL.03-6907-4622

11-T-11983 2012.3作成

大阪府ファイヤー連盟メーリングリスト開設のお知らせ

この度、フライトエリアのない大阪府の会員の意見交換や情報発信の場として、メーリングリストを開設いたしました。参加をご希望の会員の方はご登録ください。

●登録：

下記管理者まで、メールにてお願いします。

管理者：横堀道郎（JA67O-212287）

管理者メールアドレス：

maido_yok@hotmail.com

[登録申し込みフォーマット]

- ・件名：メーリングリスト登録依頼
- ・本文：1-お名前（フルネーム）、2-メールアドレス、3-JHFファイヤー登録番号（JA67O- ）

※注意 3項目が明記されていない場合は登録できません。

●メーリングリストアドレス：

jhf-osaka@mlist.ne.jp

●運用規定

- ・メーリングリストに発信したあなた

のメールにはファイヤー登録番号と氏名が明記されます。

- ・運用上ふさわしくない内容のメールおよびメンバーは削除させていただきます。
- ・大阪府連会員用ですが、近隣府県連盟の役員など、大阪府連の活動に必要と認めたメンバーが参加する場合があります。

大阪府ファイヤー連盟理事長

片岡義夫

写真・映像で日本の空を元気に！

第2回JHFフォトコンテスト

JHFは、ハンググライダーやパラグライダーができるだけ多くの人々の目に触れることが普及のために必要であると考え、フォトコンテストを開催しています。

第1回では、フライヤー以外の方も含め全国から346点の作品が寄せられました。今回はハンググライディング、パラグライディングの楽しさを伝えられるような作品をお待ちしています。ぜひご応募ください。

■テーマ：

ハンググライディング、パラグライディングの楽しさ、美しさを表現する

■募集部門：

(1) 空撮部門

ハンググライダー、モーターハンググライダー、パラグライダー、モーターパラグライダーを利用して空中から撮影した写真

(2) 地上撮影部門

上記(1)に該当するもの以外

■各賞と賞金：

〈両部門共通〉

◇最優秀賞 1点 賞金10万円

〈空撮部門〉

◇優秀賞 2点 賞金各3万円

◇入選 数点以内 賞金各1万円

〈地上撮影部門〉

◇ハンググライダー賞（ハンググライダー、モーターハンググライダーを中心とした作品） 1点 賞金3万円

◇パラグライダー賞（パラグライダー、モーターパラグライダーを中心とした作品） 1点 賞金3万円

◇入選 数点以内 賞金各1万円

■審査員：別途ご紹介します。

■応募締切：

2012年8月31日（金）必着

■審査発表：2012年10月初旬

JHFホームページ上で発表し、入賞者にはメールで連絡します。

■応募の条件：

1. プロ、アマ、年齢を問いません。
2. 未発表のものに限ります。
3. 応募に伴う費用は応募者の負担とします。

■応募の方法：

◇作品は印画紙（プリント）で応募してください。スライド、フィルム、データの形式による応募はできません。

◇銀塩フィルムでもデジタルカメラで撮影されたものでも応募できます。

◇プリントサイズは、六つ切りからワイド四つ切、A4ノビ程度まで。

◇カラー、モノクロ、ソフトウェアによって加工されたものでも応募できます。

◇入賞作品についてはデジタルカメラデータ等を提出していただきます。

◇応募用紙に必要な事項を記入し、JHF事務局・フォトコンテスト係宛に作品と一緒にお願いします。応募用紙はJHFウェブサイト（トピックス：2012年2月18日）からダウンロードしてください。

第1回JHF映像コンテスト

ハンググライディング、パラグライディングをイメージアップし、空を飛ぶ楽しさを伝えられる動画、見た人が「いいなあ、やってみたいなあ」と感じる映像を募集中です。すでに楽しい作品が寄せられています。皆様のご応募をお待ちしています。

■テーマ：【発見！飛ぶって最高!!】

■作品時間：

◇ショート部門 1分以内

◇ロング部門 5分以内

■募集締切：2012年5月31日（木）必着

■賞金：

◇最優秀賞10万円

◇ショート部門 優秀賞5万円、入選（数点以内）1万円

◇ロング部門 優秀賞5万円、入選（数点以内）1万円

■審査員：別途ご紹介します。

■応募資格：プロ・アマ・個人・団体は問いません。

■応募要項：

◇一人または一団体につき何点でも応募できます。応募に伴う費用は応募者の負担とします。

◇作品はファイルで作成し、DVD-R（片面一層）に記録してお送りください。ビデオ形式ではなく、必ずデータでご応募ください。

◇応募された媒体は返却しません。

◇ファイル形式は、wmv、mov、avi、mpg、m4vなど、Windows Media Player、QuickTime Playerで再生できる形式。

◇画像解像度は1920×1080以下。

◇フレームレートは次のいずれかで、23.98fps、24fps、29.97fps、30fps、59.94fps。

◇応募用紙とは別にDVDの表にお名前とタイトルをご記入ください。

◇注意事項・詳細は応募用紙をご覧ください。応募用紙はJHFウェブサイトからダウンロードしていただくかJHF事務局にご請求ください。

◇音楽を使用する場合は、オリジナル楽曲を使用してください。

◇第三者の著作権、著作隣接権その他の権利を侵害するおそれがある音楽は使用できません。

江口和男写真展「ハンググライディングと仲間たち」

フライト歴27年の江口和男さんが、写真展を開きます。

『ハンググライダーで実際に大空を飛んでみたいと思ったのは素直な好奇心だけでしたが、それを受け止めてくれたスタッフと自身の若い精神がそうさせたことは言うまでもありません。撮影とハングを両立させるうちに、写真を通じて飛翔する感動を人に伝えたいと思うようになり、この写真展を企画しました。』



2012年6月28日～7月2日（初日は12時から／最終日は16時まで）、栃木県総合文化センターの第2ギャラリー（宇都宮市栃木県庁前）。

JHFからのお知らせ

■事務局が引越しました。

昨年12月5日、JHF事務局は下記に移転しました。

〒114-0015 東京都北区中里1-1-1-301
TEL.03-5834-2889 FAX.03-5834-2089
メールアドレス等は変更ありません。

■ボランティアを募集しています。

JHFでは、助っ人になってくださる皆さんに登録していただき、助けが必要な時に声をかけ、手伝っていただく「ボランティア登録」をお願いしています。

JHF事務局での作業の場合は、交通費を往復2,000円までお支払いします。事務局以外の場合はその都度お知らせします。

JHFウェブサイトから登録用紙をダウンロードして必要事項を入力／記入し、事務局にメールやFAX、郵便などでお送りください。ダウンロードできない場合は事務局に登録用紙をご請求ください。

■EN規格紹介DVD・日本語版作成

パラグライダーの安全規格・ENスタンダードについて、エア・ターコイズ社では、広報のため2009年に英語・フランス語・イタリア語・スペイン語などの多国言語のDVDをヨーロッパで無償配布しました。日本でも入手し講習会などで使用されていましたが、テレビ方式がPAL信号でした。エア・ターコイズ社の承諾を得て日本語字幕版をNTSC方式でDVDとして用意しています。ご希望の方に無料でお送りしますので、枚数、送付先等をJHF事務局までご連絡ください。

■JHFステッカーを販売しています

JHFロゴにハングライダーとパラグライダーの画像を加えたものと、ロゴのみのステッカーを2種類作成しま

した(ステッカーデザイン:ボランティア堀江譲氏)。2種類1セットを製造原価とほぼ同額の送料込み500円でお送りします。

ご希望の方は、JHFフライヤー会員No. / お名前 / 注文セット数 / 住所 / 連絡先電話番号 / メールアドレスを、メール、FAX、郵便などでJHF事務局にご連絡ください。入金確認後発送しますので、JHFの口座にお振り込みいただくか、50円または80円の郵便切手で金額分をお送りください。

■住所変更届けのお願い

JHFからお送りした登録更新案内やJHFレポートが「転居先不明」等で多数戻って来ます。住所を変更された方は、お手数ですが下記項目をメール、FAX、郵便などでご連絡ください。

JHFフライヤー会員No. / お名前 / 変更後のご住所 / 連絡先電話番号 / メールアドレス

コンビニにて更新の手続きをする場合は、払込票の控えは事務局に届きません。払込票で新しいご住所をご連絡いただく際はゆうちょ銀行にてお手続きください。

■口座振替のご案内

フライヤー会費は口座振替(自動振込)ができます。郵便局やコンビニに払い込みに行かず、更新忘れによる無保険飛行も防げます。年会費5,000円が4,800円で振込手数料もかかりません。

登録更新案内に、口座振替案内と申込用紙を同封していますが、更新時期ではない方も予めお申し込みいただけますので、お問い合わせください。

■JHF備品を貸し出しています

JHFでは下記備品の貸し出しをしています。ご希望の方は「JHFウェブサイト」→「フライヤーサポートデスク」→「登録申請・各種用紙」より貸出依頼書をダウンロードし、必要事項を記入・入力して、FAXかメールでお申し込みください。

備品の返却にかかる送料はご負担をお願いします。

◇自動体外式除細動器(AED)

公認大会やイベント主催者に無料で貸し出し。申込条件: 消防署や日本赤十字社等のAEDを使った救命法講習会を受講した方がいること。

◇ボロジメーター

キャノピー等のエア漏れを計測する機械。スクール・クラブ等を対象に貸し出し。貸出期間は2週間以内。貸出料5,000円。

◇スカイレジャー航空無線機

スカイスports専用の周波数で使う無線機(465.1875MHz)。JHF会員を対象に、大会やイベントでのご利用のために貸し出し。貸出料は1,000円/台。申込条件: ご利用者の中に「第三級陸上特殊無線技士」免許を持ち、JHF無線従事者に登録している方が1名以上いること。

◇デジタル無線機

JHF会員の皆様に無料で貸し出し。販売代理店のご厚意により5台お借りしています。JHFでも10台購入しました。ぜひお試しください。

◇アルコール検知器

大会やイベント主催者に無料で貸し出し。前夜の飲酒がフライトに影響することもあります。事故防止のために新たに導入しました。ご利用ください。

■連盟名称表記について

JHFは昨春、公益社団法人になりました。JHFからの発送印刷書類の一部が社団法人のままですが、在庫がなくなるまで旧名称のものを使用しますので、ご理解ください。

■各種お申し込みやお問い合わせは

JHF事務局へご連絡ください。

公益社団法人日本ハング・パラグライディング連盟

〒114-0015 東京都北区中里1-1-1-301

TEL.03-5834-2889 FAX.03-5834-2089

E-mail: info@jhf.hangpara.or.jp

http://jhf.hangpara.or.jp/

*賛助会員からのお知らせを同封しています。また、神奈川県在住の方には神奈川県ハング・パラグライディング連盟からのお知らせも同封しています。ご利用ください。



JHFレポート 197号

発行日: 2012年4月15日

発行: 公益社団法人 日本ハング・パラグライディング連盟 (JHF)

編集: JHF事務局

印刷: 日本印刷株式会社